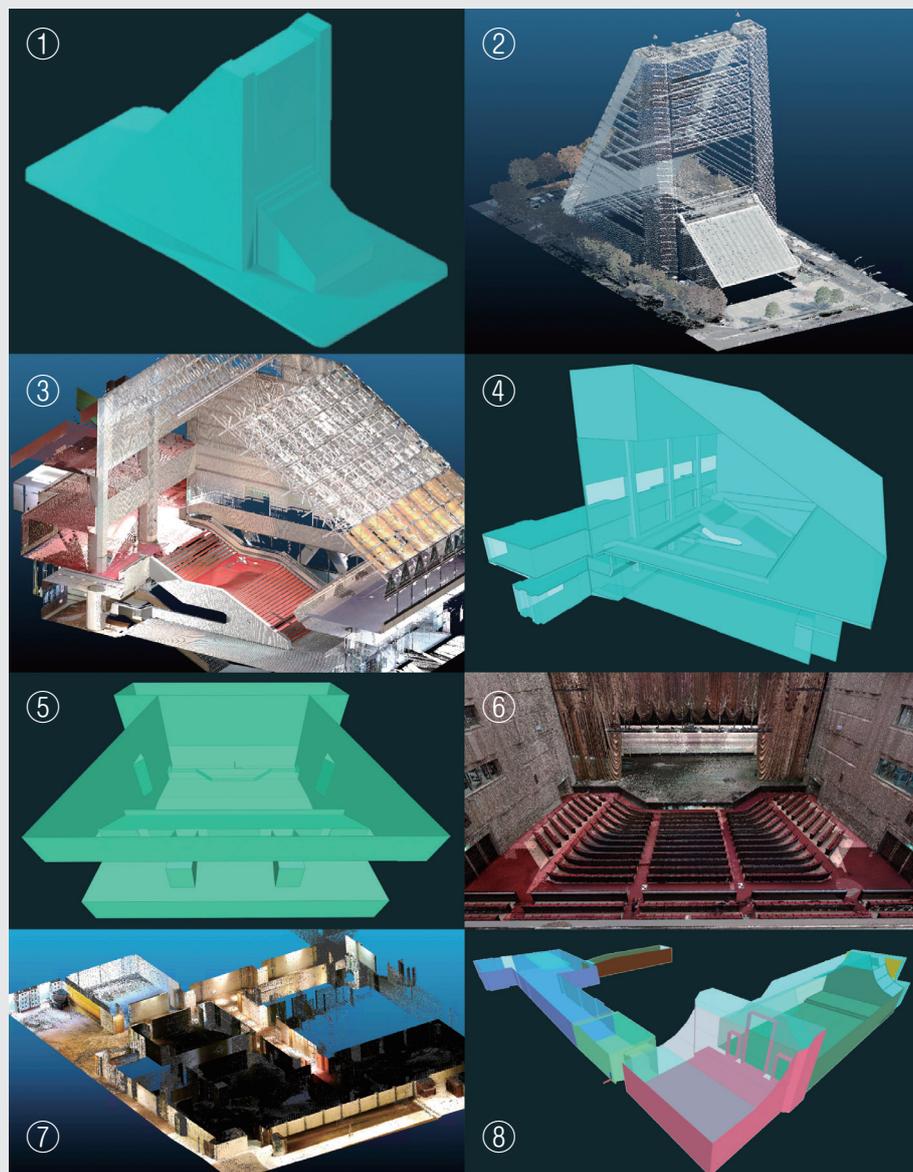


中野サンプラザのデジタルアーカイブについて / 国際航業株式会社

中野サンプラザは全国勤労青少年会館（愛称：中野サンプラザ）として1973年に開館されて以降、さまざまなジャンルのアーティストがコンサートを開催し、音楽の聖地として愛されるとともに、区民をはじめとした多くの人々が交流する場でした。さらに、特徴的な外観を持つ建物は、中野区のシンボルとして50年にわたり親しまれてきました。中野区は、2023年7月の閉館を機に、文化財としてアーカイブ化することを目的として、最新機器を使用して各種計測を行い、計測データから3Dモデルを作成し、デジタルアーカイブとして後世に残すだけでなく、学術研究やバーチャル空間等、利用者の自由な発想によるさまざまな利活用を期待してオープンデータとして公開しました。国際航業株式会社は、航空レーザ測量、地上レーザ測量、3Dカメラを活用して解体前の中野サンプラザの外観及び建物内部を計測し、「BIM/CIM活用ガイドライン（案）」（令和3年3月国土交通省）に準拠した「LOD200」の中野サンプラザの3Dモデルを作成しました。

※©中野区 写真はすべてクリエイティブ・コモンズ・ライセンス（表示4.0 国際）のもとに掲載を許諾されています。
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/>



◀ 表紙解説

- ① 外観 (3Dモデル)
- ② 外観 (三次元点群)
- ③ エントランス (三次元点群)
- ④ エントランス (3Dモデル)
- ⑤ 大ホール (3Dモデル)
- ⑥ 大ホール (三次元点群)
- ⑦ チャペル (三次元点群)
- ⑧ チャペル (3Dモデル)